

分 か る と 快 感 !

# Z会ナビ

▶算数

理科

社会

お題

## 宝探しに挑戦!

(慶應義塾大学 2010年 数学)

「Z会ナビ」が  
Webサイト  
でも読めます!



Z会おとナビ新聞

検索

これまでの内容も掲載しています!

14個の丸い宝石箱のふたに、1から14までの数が書かれたシールを1枚ずつ貼り、14の箱の中にダイヤを入れました。この宝石箱を、となりあう数の差(大きい数から小さい数を引いた答え)が、3か4からなるように円形にならべました。ところが、ならべ終わったとたんに風がふいて、10枚のシールが飛ばされ、下の図のように4枚のシールだけが残りました。シールが残っている箱をたよりに、ダイヤが「あ」~「こ」のどの箱に入っているのかを当ててください。



イラスト・瑞木匠

ます。1が貼られた箱と①の間にある②に貼られていた数は、4、5、6のどれかになります。しかも6が貼られた箱はすでにありますから、4と5のどちらかです。

②に4が貼られていたとすると、①には何の数が貼られていたのでしょうか? 差が3か4か5になるのですから

7、8、9

のどれかですね。14ではありません。では、②に5が貼られていたとしたらどうでしょうか? この場合は

8、9、10

のどれかになります。やはり、14ではありません。

残りは③だけです。ダイヤの入った箱は③だとわかりました。【Z会・柳田雅史】

### 14のとなりは?

ダイヤが入っている箱は、14のシールが貼られていた箱ですね。この箱のとなりにならぶことができる箱には、どの数のシールが貼られていたのでしょうか。差が3か4か5になるので、14より3か4か5小さい

11、10、9

のどれかになります(シールは1から14までの数なので、14より大きい数はあてはまりません)。シールが残っている箱には、

1、6、12、13

が貼られていますから、どれも14が貼られていた箱のとなりではないとわかります。つまり、

## 消去法を使う

1、6、12、13が貼られた箱のとなりの④、⑤、⑥、⑦、⑧は、ダイヤの入った箱ではないとわかります。



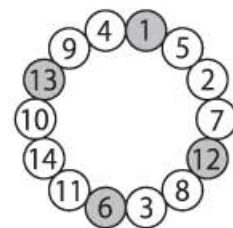
### 二つとなりまで考えよう

さて、残る箱は①、②の二つです。そこで、①について考えてみましょう。

①は、1が貼られた箱の二つとなりにあり

### ! 今回の教訓

問題の答えを直接探すのが難しいときは、「答えではないもの」を見つけて、とりのぞいていく方法が効果的です。この方法を「消去法」といいます。③以外の箱に貼られていた数も、消去法を使って調べることができますよ。



柳田雅史さん 2004年Z会入社。Z会小学生コースの講座設計を担当。妻もZ会社員で、このコーナーの内容を家で一緒に考えることも。1979年東京生まれ。